

# 常新報

刊夕日六十月二

定価 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓

社址 東京市本町一丁目 電話 六三〇〇番

支店 東京市本町一丁目 電話 六三〇〇番

支店 東京市本町一丁目 電話 六三〇〇番

支店 東京市本町一丁目 電話 六三〇〇番

## 外科

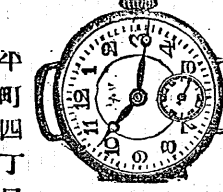
赤心堂病院

田町 電話四七五番

外科一般  
耳鼻咽喉科  
男性病科  
女性病科  
×光線科

## 會田時計店

平町四丁目  
電話三六三



振動腕時計  
不感の腕時計

## 有聲座

任俠二刀流

特別出演 松枝鶴子嬢の熱演  
マキノ作 中篇愈々上映  
片岡千恵藏、岡島艶子主演

明石緑郎 十四卷  
龍馬暗殺 十卷  
勝文七元結 十卷

### 石城郡有権者各位に嘆願

拜啓  
寒さ厳しき折柄お變りありませぬかお伺申します。さて今回私の兄、佐川潔事郎の方々の御勸により代議士の候補者に立ちました。考へて見ますと私ら兄弟三人は御存じの通り母の手一つ、貧しい中に育ち皆様の御蔭で漸く微弱な今日あるを得たので常に郷里の人々に對し奉り感謝してゐる次第であります。今回兄弟のうちから立候補したといふのも郷土に對しより多く酬むたいといふ心からであります。萬が一にも當選さして頂く事が出来たら、郷里の人々の死別孤節二十餘年あらかず報ひ且早く夫ゆる辛酸を嘗めつくしはかなく逝いたあの母の靈をも幾分なり慰める事のできるのを信じます。それで私ら兄弟の意を諒せられ政黨派の如何は暫く置いてどうか立候補せる佐川潔を頼り御聲援下さるやう伏してお願申上します。右寒中お見舞う々お願まで 敬具  
昭和三年一月三十日  
警城中學同窓會京都支部  
(舊姓佐川)  
幹事 青木淳  
自宅 京都市岡崎北御所町  
電話(七五五八三番)  
尚私らも當選を祈り居ります

警城中學同窓會京都支部  
鐘紡山科工場長 鈴木正武  
醫學博士 矢吹一男  
京都市土木技師 小薬五郎  
京都裁判所判事 山崎一郎  
福知山甘藷隊歩兵中尉 野島金平  
外會員一同

### 移轉廣告

弊院從來平町驛前通りに於て診療に従事致居り候處今回中田町(舊診療所の裏通り)に新築移轉し従前通り一般診療に従事可致候

平町中田町七十一番地

## 新築移轉所合津咽喉科醫院

電話 五五九番

## 松本孫右工門

### 後援廣告

先生の當選を期す

明治大學揚明會  
松本先生後援學生聯  
明石城青年革新會

## 磐城共濟病院

平町 電話六四一番

■ 内科 小兒科	院長 醫學博士 難波 睦
■ 外科 皮膚泌尿科	部長 栗野 (省三不日來任)
■ 産科 婦人科	部長 木村 淳
■ 藥局 産婦人科部長	五十嵐 雄二
■ 藥劑士	吉本 孝平
■ 病院主事	賀澤 忠治

## メアードフ

平名産 水飴に多量の藥用生葡萄酒を混合して製造したる滋養品にて變質することなく贈答品に適す

發賣元 佐藤ブドー 酒店

構内賣 久保田バンヤ

電話八〇四番

山十蘭乾燥場に三月末日迄居住致居りますから宜敷御願致します(電話四五六)

### 揃ひました

新形洋服が いろくな

値段は昨年より二割安  
立襟上下 拾圓ヨリ  
春廣三組 十三圓五十  
銭ヨリ  
オーバ 六七圓位ヨリ

其他變つた新形洋服を澤山取揃ひてあります

## 十字屋洋服店

平停車場前通り

### 開業廿週年 謝恩大賣出し

昭和二年十二月三十日より全三年四月七日まで百日間賣出期間百日を通じて金百圓御買上の金 印特製醬油御方には 金九升入壹樽 金七十圓御買上には四升入一樽進呈

## 玩具問屋 森下商店

平町一丁目 末め屋號

### 常磐文藝

妖路あけみ

黒髪のいとど亂れていなさつゝ君戀しさに泣き寝りせし

◇  
むすばれをどけどもあやぐめる、君と我との割りなき心

◇  
このまゝに化石にもならばやと、命をかけてひたふるに戀ふ

◇  
おんきみのいとも情なきよるまひは、思ひ切れとの謎やと迷ふ

◇  
酒の匂ひたばこの香りカフエーの、前を歩ば我若かりし

◇  
風なきにそこはかどなく紙の飛ぶ春の、夕べは人戀ひまさる

◇  
森れい子  
はうかなる、こぞの思出かたるくさ夕のまごに、我見やる樓上よ

◇  
櫻草の何をかかたる、今日もまたはうかなるひとしのべかや

◇  
あか／＼と南天の實の、いやあかき雪のあしたのみ空にはわて

◇  
あきらめてあきらめてな


ほうらめじや、君の残せし玉づさのあと

○雪晴れて朝日さす日だまりに、小雀二つふくらみてあり

○如月の風におくれぬ梅のはな、あしたの庭には、わみをみぬ

○君めでませし櫻草の咲きければ、送つてしかな朝路の風に

○我友の眼を細らせて笑ふ様思ひ浮べてしらすほゝえむ



### 選挙の終了する迄は 取引関係が停頓状態

#### 政戦が祟る地方財界

政戦開始されて漸く三旬に近く全く世を擧げての騒ぎとなり一面に於けて経済關係の活動は益々停頓の狀態となり平町の各銀行に就て觀るも重なる取引筋は選舉終了後までは見合せといつた有様である許りでなく又市内各商店に於ける東京其他各方面の開屋はこれまた「兎に角選舉中は」取引金の回収を緩和して引金であるから先づ縣下各方面に亘り此情勢が經濟金融關係に作用してゐるものだらうと言はれてゐる

### 濱三郡木炭 事務所移轉

#### 總會の問題

石城双葉相馬の濱三郡木炭同業組合では二十五日午前十時から平町元郡役所に於て總會を開き前年度決算報告及び本年度豫算事業豫定等を附議する事となつてゐるが殊に當日は久しき問題にて組合管内同地方により争奪戦を行つてゐる組合事務所移轉にも論議が及ぶべし之れが實現には定款の變更其他種々なる事情もある事なれば簡單なる決定を見られまいと見られてゐるが移轉實行論者の意向としては現在の平町事務所は三郡の地形上南端に偏してゐるから之を中部に移轉せしめたいといふ相双二郡方面の意見である

### 比佐派地盤よ 氏家派侵入

#### 醜い同志討

第三區濱通りの民政派では公認候補者比佐昌平氏が三萬八千餘名の有権者を持つてゐる石城郡から出馬してゐるのに對し双葉から出た同派公認氏家氏は相双二郡を合して有権者三萬二千名に過ぎず比佐氏に比べると非常に不利な立場にあるので氏家氏は立候補と同時に比佐派に對し石城郡から多少の投票を送つて貰ひたいと交渉中下之がため釘本幹事長等來平し地盤割の協定をなすべく幹旋大に努めたが結局比佐派の人々が應せぬので交渉は破裂し氏家氏は十五日から平町に事務

### 平の磐城製糸 近く具體化

#### 片倉氏等來查

石城郡養蠶同業組合の計畫に係る片倉組との提携製糸工場資本金百萬圓の磐城製絲株式會社の設立に對して同郡町村長會滿場一致の賛成を得て工場設置の平町か

ら伏見町長外町議の代表數名が東京に片倉社長を訪ひ希望を述べたるは既報したが片倉組でも大體に於て該計畫に同意を示し本月下旬

### 木村氏勢力盛り返す 更に一段の奮進

第二區政友派木村候補は平町に於ける人氣は必死の努力をなした結果盛返したる觀あるも好問村は松本、比佐、佐川の各候補に蠶食された形であり湯本町は比佐氏の絶對地盤とされてゐるだけこの方面への進出は容易ならざるもの、如く決して樂觀は許さず更に一段の奮進を要すと觀られてゐる

### 流行の総絞 織羽や地帯

近年絞りが羽織地帯に帯などに應用する事が著しくかんとなり時代模様の中で特にこの絞模様は一番近代人の氣持ちにもあひ、そのあでやかさ柔かな感じが大變に よろこばれつゝあります、今年の春の流行としても疋田絞り等が



フルーツポンチ

先づ材料としてレモン汁を半個分をラレットまたはペルモット或は葡萄酒やポルトワインをコーヒカップの

應用し たものは一寸金紗風で大變面白いものとなつて居ります、若い奥さまや令嬢向きの羽織地帯にして明るい春の散歩や訪問にはまことにふさはしいものと思はれます

### 丸亀の抽籤 當選者決定

平町三丁目中野呉服店の地見立投票は昨日午後八時より本社營業部員立會の上抽籤を執行一等は五番の帯にて當籤者五丁目篠原元子二等は五十一番の帯で六丁目蛭田孝子、三等は十六番目高久病院内鈴木トシ子と決定尚ほ左記の諸子にも籤外として薄賞を呈すと

- (五番) 江島秀子、林静枝、勝間久子、箱崎スミ子、鈴木ハナ子、中野ハナ子、柳内元子、小松崎マコ、佐藤冬子、間宮元子、(十六番) 根本文子、鈴木ミツ子、野田千代子、遠山秀子、遠藤ミヨ子、鈴木木信太郎、白土スヅ子、佐藤ツツミ、(五十一番) 藤沼龜野子、小野ツヤ子、草野ます子、平澤シノ、長谷川さん、中村愛子、梅宮コセン、間宮清、牧志ふじ子、戸井田イシノ

五分の一、砂糖を小匙に三杯、それに水をコーヒカップ一杯に一杯用意致します、以上の分量を混合したお汁の中に林檎や梨は皮をむいて塞の目に切り、蜜柑は外の皮をむいて袋の筋を取つてから浸します、又罐詰のパイナップルだごか桃、櫻桃などはフルーツポンチに用

### 恐るる火の追憶

### けふは平の 大火記念日

#### 物凄しい火事でしたと 浦井兼作氏語る

今十六日が恰も平町有史以來の大震災の二十三週年に相當するの、其火災の火元であつた田町では青年會主催となり十六日午前九時から物見ヶ岡稻荷神社に祈禱祭を

### 執行す

る筈であるが當時の消防手にして今尙現職にある平町消防組第二部部長浦井兼作氏に就き其大火の追憶談を聴取するとイヤとてもお話にはならぬ

### 其時に

は既に火元の家の周囲十數軒は一面に火が廻つてゐて手の出し様のない始末それでもあの不便な唧筒を堀井戸にかけた溝にかけたりして、唧筒三臺を扱つてゐて百五十名の消防手は命をなげ出しての奮闘を試みたのですが何しろ前に云つた様な大暴風

### 障子や

唐紙は糸の

### 飛火し

て山火事を

### 新田町

二、三、四、五丁目、白銀、大工町、新川町、南町など六百戸を焼き盡した様な始末でしたから如何に風が強く一時に八方火の手が廻つてゐたが想像されるでせう。夫れに約半道もあらうといふ飯野村大字南白土の館觀世音の森

### 消防手

の數も始同數でしたが何しろポンプは手押で水には不便と來てゐたのだから風でもあつたら手の出し様はない位です其時など一部と三部のポンプは猛火に包まれ焼て了ひました其時の同僚で今現職にあるのは高根澤長太郎、根本幸一郎、小松福松、松本次郎、市川長作さん位のものでせうと感慨無量の追憶を聞かせてくれた